

青少年・環境委員会 基本方針（案）

青少年環境委員会 委員長 畠中 隆嘉

1 近年、情報通信技術の急速な革新により社会構造が大きく変化している今、また昨年の
2 新型コロナウィルス感染症流行の影響で地域社会でも情勢が変わり子ども達が成長してい
3 く上で必要な学びやコミュニケーションを取る事が困難化しており、様々な体験を得得する
4 機会が極めて少なくなっています。一般社団法人佐賀青年会議所は子ども達の人格形成
5 のために必要な心と体が育まれる場を提供し、寛容大度な人材に育てることが必要です。

6 まずは佐賀青年会議所が一致団結をして青少年育成事業に取り組むために、現在の社会
7 構造や大きく変わった情勢、子ども達が置かれている現状を知りながら場を設け、関
8 心を得ることでメンバーの参加意識の向上を図ります。そして子ども達が自信を持って成
9 長し、次代の社会の担い手となるために、仲間と力を合わせて共通の目標に協力して取り
10 組むコミュニケーション能力や失敗を恐れず物事に積極的に挑戦する心を育み自己成長で
11 きる場を提供します。さらに急速に変化する近代社会においてネットワーク空間によるコ
12 ミュニケーションが日常化し、柔軟に対応できる能力が必要不可欠であり、子どもと大人
13 が共通の認識を持ち相互理解を深め思いやりや感謝、人として心の成長を促す事業を構築
14 します。また環境では地域に愛着を持って暮らせるよう諸先輩が続けてこられた河川清掃
15 を4月と10月に実施します。そして地域発展の為に活動をし、数々の功績を残してこら
16 れた卒業生に感謝の気持ちと恭敬の心を込めて、卒業生を送る会を開催し、更なる友情を
17 深めます。

18 青少年育成事業を通して未来ある子ども達が人と人との繋がりを大切にし、感性を育み、
19 大きな時代の変遷に打ち勝つていけるよう闘志の心を持って力強く闘い、現在（いま）を
20 生き抜き次代へつないで参ります。

21

22

23 [事業計画]

- 24 1. 青少年事業の企画・運営（7月）
- 25 2. 河川清掃（4・10月）
- 26 3. 例会の企画・運営（5月）
- 27 4. 卒業生を送る会の企画・運営（12月）
- 28 5. 佐賀ブロック大会参加者への支援（〇月）
- 29 6. 会員拡大 拡大目標 委員会5名（通年）